

• 157: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 病院事業決算年度ということである質疑をしておりますが、まずは、コロナ禍の中で病院経営、非常に大変な状況で仙台市民の安心・安全、命を守っていただいていること、そして恒常的に医療業務に当たっている皆様に敬意を示しながらということで、まずは入りたいと思っております。時にはちょっと厳しくなるかもしれませんが、ぜひ、それも全ては市民の命を守るためということで御理解をいただければというふうに思います。

まずは、決算年度概要を調べさせていただきましたが、非常に厳しい中で700万円の純利益を出されております。この経営について全体的な所見をまず伺いたいと思っておりますので、御回答いただければと思います。

• 158: ○病院事業管理者

検索語: なし

○病院事業管理者 令和2年度の経営についてのお尋ねでございます。

全体的には、患者さんの受診控え等によりまして入院患者数が大きく落ち込みまして、医業収益的にはかなりマイナスになりました。しかしながら、コロナ対策に関わる国の各種の補助金あるいは県の補助等を活用して、最終的には、今委員がおっしゃったように700万円の黒字を計上することができました。ただ、現行も、まだ収束にどう向かうかが甚だ不透明ではございまして、今年度も厳しい経営環境は依然続いているというのが現在の認識でございます。

• 159: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 医業外収益が40億円近くあってということでございますけれども、まずはその中でも、やはりコロナ禍でございましたので、コロナに係った決算の内容の内訳をお示しいただきたいというふうに思います。

• 160: ○経営医事課長

検索語: なし

○経営医事課長 新型コロナ関連、コロナ禍に要した経費でございますが、職員人件費や施設の維持管理経費など、明確に区分することが困難な経費もあることから、国などから補助金として交付を受けた実績を基に御説明を申し上げたいと思います。

まず、新型コロナウイルス感染症患者等の診察、看護や検査を行った職員への特殊勤務手当が4097万円、感染症患者が入院した病室などの清掃業務委託料370万円、PCR検査の外部検査委託料318万円、病室の陰圧化工事費用284万円、診療に使用する医療用のニトリルグローブ、アイソレーションガウン、フェースシールドなどの個人防護具が5870万円となっているところでございます。

また、人工呼吸器、PCR検査装置などの医療機器、発熱外来患者のスクリーニングを行うために設置した陰圧テント、入館者の体温を測定するサーマルカメラ、そのような機器の整備費用としましては合計で2億330万円となっているところでございます。

• 161: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　いろいろ準備をして、対応していただいて、感染者病棟なんか非常にこれで充実もされてきているのかなというふうにも認識するところでございますが、設備分についてはお示しをいただきました。

では、従事している医療関係者の皆様がこのコロナ対応、患者さんを受け入れている中、常任委員会でもその受け入れている人数とかはお答えできないということでございましたので、であるならば、従事している方々の、職員の何か感想みたいなものを率直に聞きたいというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

• 162: ○市立病院長

検索語: なし

○市立病院長　新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、これまでの感染拡大の数度にわたる波の中で、陽性患者、特に重症や中等症患者の治療はもとより、宿泊療養患者のアセスメント診療、全ての入院患者へのコロナウイルス検査の実施、クラスター発生施設への応援スタッフの派遣、さらにはワクチンの集団接種への協力など、様々な局面において職員の大きな負担となっているところです。

また、こうしたコロナ診療に従事する職員を確保するために、通常診療を一部制限しマンパワーを確保してまいりましたが、その際の配置、異動に伴うスタッフの身体的、精神的負担も非常に大きく、スタッフのケアを実施するなどの対応を行ってきたところでございます。

• 163: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　改めてこうして聞かせていただくと、確かに所属じゃないところに回されてと、機械、ロボットじゃないので人間は、その御苦勞は非常にあったんだというふうに、改めてお伺いをして御苦勞に感謝を申し上げるところでございます。

苦勞の話も分かったんですけれども、逆に、何かこれ災い転じてではないですけれども、よかったみたいな点ももしあればお示しをしていただきたいと思いますと思うんですが、いかがでしょうか。

• 164: ○市立病院長

検索語: なし

○市立病院長　先ほど申しましたとおり、職員に関しては非常に苦勞も多いのですが、一方、地域の皆様から非常に温かい声援の声をいただきまして、食料等の物品を頂いたり、それから応援のメッセージを頂いたりしまして、それを病院に貼って、職員の励みとして治療、診療に当たっております。

• 165: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　今年度は補正で寄附も頂いたなんていうこともありましたし、やはり地域というか、病院の従事している皆様にはしっかり地域が見守っていると、応援しているというふうにも感じておりますので、ぜひに頑張っていただければと思います。

ワクチン接種については、今までずっと議論があるんですが、やはり病院なので、その治療薬の話がどうなのかということをやっと危惧しております、今では抗体カクテル療法なんか

も、初期の段階で投与することによって重症化を抑えるということも聞いておりますけれども、市立病院でその治療薬の対応がどうなっているのか。また、病院で対応して、その治験をどう情報交換しているのかななどということも、分かれば教えていただければというふうに思います。

• 166: ○市立病院長

検索語: なし

○市立病院長      新型コロナウイルス感染症の陽性患者の治療に関しましては、厚生労働省が診療の手引を作成しており、当院ではこれに基づき治療を行っております。

重症化リスクのある基礎疾患、いわゆる重症化リスク因子の有無や発症からの日数、合併症などを考慮して重症度を繰り返し評価し、これに基づき治療方法を決定します。中等症以上に該当し、酸素投与が必要となる場合には抗ウイルス薬や免疫抑制薬の投与、重症の場合は人工呼吸器等による呼吸管理を行います。

また、抗体カクテル療法についてですが、発症初期に投与することで重症化を抑える効果があります。発症から7日以内で酸素投与を必要とせず、基礎疾患があるなど重症化リスクのある軽症の患者を対象に行われる治療法です。当院でも、対象となる患者がいる場合には実施することとしており、実際に投与した例もございます。

また、こうした治療の治験に関しましては、専門家同士でネットワークをつくって情報交換しております。

• 167: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 病院内の対応と関係者に対しての情報交換は分かりました。では、一般市民に向けての発信とかはどのようにしているのかというのを教えていただきたいんですが、いかがでしょうか。

• 168: ○経営管理部参事兼総務課長

検索語: なし

○経営管理部参事兼総務課長 ただいま院長がお答え申し上げた、治療なりなんなりとかということについての一般市民への発信ということと理解してお答えしたいと思うんですけども、個別の患者さんについての対応みたいなところについては、ちょっとなかなか公にはできないというところもございまして、その点は御理解いただきたいと思います。

• 169: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 苦しい答弁に対応していただきありがとうございます。ただ、やはり市民の方々が知りたいところ、実はそういったところなんです。なのでできる限り、個人に対してどうのこうのではなく、開示できるものについては、ぜひ開示していただければありがたいというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

コロナの話は以上とさせていただき、市立病院で恒常的に行っている救急医療体制について伺っていききたいというふうに思うんですが、今定例会でも4病院の連携統合の話の中で、市立病院または仙台赤十字病院が年間合わせて4, 0 0 0件近い受入れをしているという答弁にな

っておりましたけれども、一般的な市民の認識は、救急医療体制はすごく大変で厳しくてという認識を持っているんですけれども、仙台市立病院でこの救急医療体制の現状の認識をお伺いしたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

• 170: ○市立病院長

検索語: なし

○市立病院長 救急医療体制への認識ということです。

当院では、救急医療の三次救急を中心に引き受けておりまして、たくさんの市民の方を診療しておりますが、まず、課題としては、救急外来において救急搬送患者を受け入れる際、コロナに関連しての話であります。発熱患者に関しては行動歴が不明な場合が多く、コロナの疑い患者として感染防護具を着用しての対応、さらにはコロナウイルス感染等の検査等の実施などに時間を要するため、一時的に救急患者の受入れを制限せざるを得ないという課題があります。

また、集中治療室、いわゆるICUですが、ここでコロナの重症患者を多く受け入れる際には、患者1人に係るスタッフの数が通常より多く必要となるために、ICUに受け入れる患者の数を制限せざるを得ない現状となっております。

こうした課題に対応するため、感染状況に応じて一部の通常診療を制限することによりマンパワーを確保し、救急対応のスタッフを増員するなどの取組を行ってきたところでございます。

• 171: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 救急医療については、コロナに限らずということでお答えいただきましたかったというふうに思っているんですけども、基本的に、過去の流れでいうと、医師不足なんかもあったというふうに認識をして、それを充足されてきて対応しているという認識があるんですけども、その辺の受入れ体制がコロナに限らず充足しているのか、その辺の認識を伺いたかったんですが、いま一度御答弁していただいてよろしいでしょうか。

• 172: ○病院事業管理者

検索語: なし

○病院事業管理者 当院、今、救命救急センターを有してまして、宮城県で取っております救急車の搬入件数といいますか、病院ごとの、それを見てもみますと、統計取り始めて以来、ほとんど当院が宮城県内で第1位でございます。ただ、その内容に関しては、今から30年ぐらい前までは、各診療科の医師がそれぞれ自分が診られるところを頑張って患者さんを受けていたと、そういう中からだんだんと救急の専門医が、在学も含めて育ってきて、少しずつシフトしてきたという経緯がございます。当院でも救急専門医おりますけれども、残念ながら365日全部、24時間カバーするところまでまだいかないと、そういう面では多少まだまだ課題もございますけれども、病院全体を挙げて救急患者に取り組むという姿勢はやはり一貫しているというふうに認識をしております。

• 173: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　多くの方々を受け入れていただいているということです。ここについても改めて感謝を述べるところでございます。課題も残っているということでございますので、そこをしっかりとケアしていただくことをお願いしたいというふうに思います。

救急ということでつながってくるのが、市立病院の屋上にはヘリポートがございます。病院のヘリポートとなるとドクターヘリで活用されているのかなんていうふうに思うんですけども、あのヘリポートの活用がどのようになっているのかをお伺いしたいと思います。

• 174: ○経営医事課長

検索語: なし

○経営医事課長　ヘリコプター搬送による救急患者の受入れを行っているところでございまして、令和2年度、昨年度の実績といたしますと28件となりまして、前年度比では1件の増加となっているところでございます。

• 175: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　なるほど。救急も多くの方を受け入れていただいているということで、私も近隣に住んでおりますので、救急車が多く通るなという、まさしく多く受け入れていただいているんだなというふうに思います。ドクターヘリなんて、やはり遠くに行くメリットがあるのかなと思うんですけども、その28件のうち、一番遠くまで行ったとかという、もし分かればお示しをいただきたい。仙台市を越えて行っているのか、県まで越えて行っているのかと

かということまで、もし分ければ教えていただきたいと思います。

• 176: ○病院事業管理者

検索語: なし

○病院事業管理者      ヘリコプターによる救急患者搬送に関しては、大きく分けて幾つかの系統がございます。

宮城県が主体となって運営している委員御指摘のドクターヘリ、これは今、仙台医療センターと東北大学病院で分担して運用されております。

それから、仙台市が運用しております消防防災ヘリ、これもやはり場合によっては救急患者を運んでおります。それから、当院で受け入れているもう一つは、海上保安庁のヘリの洋上救急もございます。

先ほど経営医事課長から御答弁したヘリの搬入の受入れは、それら全て合計したものであります。

宮城県のドクターヘリに関しては、どこまで行くかということに関しては、近隣3県、岩手県、山形県、福島県とそれぞれ連携協定を結んで、それぞれの県でもう出動済みという場合には、代わりにこちらから行くと、逆の場合もございますけれども、そういう協定を結んで実績はあるものと承知しております。

• 177: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 病院移転して6年近くなりますけれども、こういった事実も初めて知りまして、改めて病院の皆様へ感謝を申し上げるところでございますが、この費用負担がどうなっているのか。多分、県の部分は県が負担してもらっているんですけども、その辺の部分、もし分かればお示しをいただきたいと思っております。

• 178: ○病院事業管理者

検索語: なし

○病院事業管理者 宮城県ドクターヘリに関しては、国と県が半分ずつ負担していると承知をしております。

• 179: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 市の部分は当然市と、海上に行ったりとかというのも、これは国、県がやっているんですか。年のため確認をさせていただきます。

• 180: ○病院事業管理者

検索語: なし

○病院事業管理者 仙台市の防災ヘリの活動に関しては仙台市消防局、それから、海上保安庁による洋上救急は海上保安庁負担でやっております。

• 181: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　最後にさせていただきますけれども、先ほど来言っているとおり、病院が移転して6年近くたちました。私も近隣に住む一人でございます。地域との交流というものを過去ずっとやっていただいているんですが、コロナを理由になかなかできない状況になっております。病院事業のすばらしい取組を発行していただいて、事業管理者と病院長がすばらしい写真で載っていたものもございました。そういったことを活用しながら、また地域との交流を、コロナが収束したときにはぜひ行っていただきたいというふうに思っているんですが、その辺の御認識を伺って、私の質疑を終わりたいというふうに思います。

• 182: ○病院事業管理者

検索語: なし

○病院事業管理者　現在のコロナ禍で、我々その地域の方々と触れ合うために市民公開講座、また、ふれあいまつりなどを行ってまいりました。しかしながら、昨年度から開催が非常に困難な状況となっております。当院としても、やはり地域から選ばれ、頼りにされる病院というものを目指しておりますことから、市民の皆さんとの関わりは非常に大事だと考えておりまして、今後、やはりウェブの活用など、病院からの直接的な情報発信を含めて、引き続き市民の皆様とつながることができる取組の実施に向けて検討を進めてまいりたいと考えております。

• 183: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 病院事業の取組を全力で応援しております。終わります。